

以下の翻訳は情報目的のみで提供されます。本翻訳版と英語の最終更新版との間に差異、不一致、矛盾が存在する場合（翻訳の遅れによる場合を含む）、英語版が優先します。

Amazon Route

53リゾルバーエンドポイントサービスレベルアグリーメント

最終更新：2024年10月17日

本Amazon Route

53リゾルバーエンドポイントサービスレベルアグリーメント（「本SLA」）は、Amazon Route 53リゾルバーエンドポイントの使用に適用されるポリシーであり、Amazon Route 53リゾルバーエンドポイントを使用する各アカウントに個別に適用される。本SLAの契約条件と、[AWSカスタマーアグリーメント](#)または利用者による本サービスの利用に適用される当社と利用者との間の他の契約（「本件契約」）の契約条件の間に齟齬がある場合は、かかる齟齬の範囲に関してのみ、本SLAの契約条件が適用される。本SLAにおいて使用する用語（英文では大文字で始まるもの）のうち、本SLAで定義されていないものは、本件契約で定められた意味を有するものとする。

SLA

AWSは、Amazon Route

53リゾルバーエンドポイントに、以下の2つのSLAのコミットメントを定めている。(1) マルチAZリゾルバーエンドポイントに適用されるマルチAZリゾルバーエンドポイントSLA、および(2) シングルAZリゾルバーエンドポイントに適用されるシングルAZリゾルバーエンドポイントSLA。

マルチAZリゾルバーエンドポイントSLA

個別のアベイラビリティゾーンに均等にプロビジョニングされる2つ以上のENIを持つリゾルバーエンドポイントの場合、AWSは、月次請求サイクル中に、下表に示す月間稼働率でリゾルバーエンドポイントを利用できるように、商業的に合理的な努力を払う（「マルチAZリゾルバーエンドポイントSLA」）

。

月間稼働率	サービスクレジット率
99.95%以上、99.99%未満	10%
95.50%以上、99.95未満	25%
95.50%未満	100%

シングルAZリゾルバーエンドポイントSLA

個別のアベイラビリティゾーンに均等にプロビジョニングされる2つ以上のENIを持たないリゾルバーエンドポイントの場合、AWSは、月次請求サイクル中に、下表に示すシングルAZ稼働率でリゾル

以下の翻訳は情報目的のみで提供されます。本翻訳版と英語の最終更新版との間に差異、不一致、矛盾が存在する場合（翻訳の遅れによる場合を含む）、英語版が優先します。

バーエンドポイントを利用できるように、商業的に合理的な努力を払う（「シングルAZリゾルバーエンドポイントSLA」）。

シングルAZ稼働率	サービスクレジット率
99.0%以上、99.5%未満	10%
95.0%以上、99.0%未満	25%
95.0%未満	100%

定義

- 「アベイラビリティゾーン」および「AZ」とは、AWSリージョン内の隔離された区分を意味し、AWSリージョンコードの後に続く1文字の識別子で特定される（例：us-west-1a）。
- 「デプロイメント時間（分）」とは、特定のAWSリージョンで請求月中に特定のリゾルバーエンドポイントがプロビジョニングされ、運用されている合計時間（分）を指す。
- 「ダウンタイム」とは、請求月中にプロビジョニングされたリゾルバーエンドポイントセット全体にわたって、セット内のリゾルバーエンドポイントが利用不可の状態で累積されたデプロイメント時間の合計である。
- 「Elastic Network Interface」または「ENI」は、仮想ネットワークカードを表すAmazonバーチャルプライベートクラウド内の論理ネットワークのコンポーネントである。
- 「最大利用可能時間」とは、請求月中にAWSアカウントでプロビジョニングされる一連のリゾルバーエンドポイント全体のすべてのデプロイメント時間の合計である。
- 「マルチAZリゾルバーエンドポイント」とは、2つ以上の個別のアベイラビリティゾーンにわたって均等にプロビジョニングされる2つ以上のENIを持つリゾルバーエンドポイントを意味する。
- 「月間稼働率」とは、特定のAWSリージョン内の特定のAWSアカウントの請求月におけるすべてのマルチAZリゾルバーエンドポイントの最大利用可能時間（分）からダウンタイムを差し引いた値を、最大利用可能時間で割ることで計算される。月間稼働率は、以下の計算式で表される。
$$\text{月間稼働率} = (\text{最大利用可能時間} - \text{ダウンタイム}) / \text{最大利用可能時間}$$
月間稼働率の測定では、Amazon Route 53リゾルバーエンドポイントのSLA除外事由に直接または間接的に起因するダウンタイムを除外する。
- 「リゾルバーエンドポイント」は、オンプレミス環境との間で送受信されるDNSクエリに応答するために、利用者がAmazon Route 53で作成するエンドポイントである。
- 「サービスクレジット」とは、対象となるアカウントにクレジットされる、上記の規定により計算されたドル建てのクレジットをいう。

以下の翻訳は情報目的のみで提供されます。本翻訳版と英語の最終更新版との間に差異、不一致、矛盾が存在する場合（翻訳の遅れによる場合を含む）、英語版が優先します。

- ・「シングルAZリゾルバーエンドポイント」とは、2つ以上の個別のアベイラビリティゾーンにわたって均等にプロビジョニングされる2つ以上のENIを持たないリゾルバーエンドポイントを意味する。
- ・「月間稼働率」とは、特定のAWSリージョン内の特定のAWSアカウントの請求月におけるすべてのシングルAZリゾルバーエンドポイントの最大利用可能時間（分）からダウンタイムを差し引いた値を、最大利用可能時間（分）で割ることで計算される。月間稼働率は、以下の計算式で表される。月間稼働率 = $(\text{最大利用可能時間} - \text{ダウンタイム}) / \text{最大利用可能時間}$ 月間稼働率の測定では、Amazon Verified Permissions SLA除外事由に直接または間接的に起因するダウンタイムを除外する。
- ・リゾルバーエンドポイント内のENIの50%以上が、5分間にわたって行われたすべてのDNSクエリに応答しなかった場合、リゾルバーエンドポイントは5分間「利用不可（アンアベラブル）」になる。

サービスクレジット

サービスクレジットは、該当するSLAが満たされなかった月次請求サイクルについて、該当するすべてのAmazon Route 53マルチAZリゾルバーエンドポイントまたはシングルAZリゾルバーエンドポイントに対して、お客様が支払ったエンドポイント料金とクエリ料金の合計に対するパーセンテージとして計算される。

サービスクレジットは、Amazon

53について今後請求される支払いに対してのみ適用できる。当社はその裁量において、利用不可状態が発生した請求期間の支払いの際に利用者が使用したクレジットカードに対して、サービスクレジットを発行することができる。サービスクレジットは、利用者に対し、AWSから返金その他の支払いを受ける権利を与えるものではない。サービスクレジットは、該当する月次請求期間の当該クレジット金額が1米ドル（\$1 USD）を超える場合のみ適用され、発行される。サービスクレジットは譲渡できず、また他のアカウントに充当することはできない。AWSアグリーメントに別段の規定がない限り、Amazon Route 53の提供における当社による利用不可状態、パフォーマンスの不実行、その他不履行が生じた場合の利用者の唯一かつ排他的な救済は、本SLAの条件に従ってサービスクレジット（該当する場合）を受け取ることである。

クレジットの請求および支払手続

サービスクレジットを受け取るには、[AWSサポートセンターでケースを作成すること](#)により、請求（リクエスト）を提出する必要がある。特定のリゾルバーエンドポイントのデプロイメントに対して、マルチAZリゾルバーエンドポイントSLAとシングルAZリゾルバーエンドポイントSLAに基づく請求を組み合わせたり、積算したりすることはできない。対象となるには、インシデント発生後、2回目の請求期間の末日までに、マルチAZリゾルバーエンドポイントSLAまたはシングルAZリゾルバーエンドポイントSLA（該当する場合）に関して以下に指定する情報を添えて当社にリクエストを提出しなければならない。

- 件名に「Route 53リゾルバーエンドポイントSLAのクレジットリクエスト（Route 53 Resolver Endpoints SLA Credit Request）」という語句を含めること

以下の翻訳は情報目的のみで提供されます。本翻訳版と英語の最終更新版との間に差異、不一致、矛盾が存在する場合（翻訳の遅れによる場合を含む）、英語版が優先します。

- ii. 利用者が請求する各利用不可インシデントの日付と時刻、およびリソースID
- iii.
 - エラーを文書化し、サービス利用者が主張した停止を裏付けるリクエストログ（これらのログ内の機密情報や機微性の高い情報は削除するかアスタリスク (*) で置き換えること）

該当するSLAに基づく請求を当社が確認した場合、当社は、リクエストが発生した月の翌請求期間内に利用者にサービスクレジットを発行する。上記要件を満たす必要情報およびその他の情報を提供しなかった場合、利用者はサービスクレジットを受け取る権利を失う。

Amazon Route 53 SLAの除外事由

それぞれのSLAは以下には適用されない。(a) その他のAmazon Route 53機能、(b) リゾルバーエンドポイント以外の手段によるAmazon Route 53リゾルバーサービスの使用（たとえば、EC2インスタンスによって行われ、パブリックインターネット経由で解決されるDNSクエリの解決）。(c) オンプレミスのDNSリゾルバー、AWS Direct Connect 接続、VPNインフラストラクチャなど、Amazon Route 53リゾルバーエンドポイント機能の一部ではない上流または下流のコンポーネントによって発生したDNSクエリ解決の失敗。(d) Amazon Route 53が利用不可になるか、停止、または終了した場合、あるいはその他の以下のAmazon Route 53リゾルバーエンドポイントのパフォーマンス上の問題が発生した場合：(i) 不可抗力事象、Amazon Route 53の境界点を超えたインターネットアクセスまたは関連する問題など、当社の合理的な制御が及ばない要因によって生じたもの、(ii) 利用者の機器、ソフトウェア、またはその他のテクノロジーに起因するもの、(iii) 本契約に従ってAmazon Route 53を使用する利用者の権利を当社が停止または終了したことに起因するもの、(iv) Amazon Route 53資料に記載されているガイドラインやベストプラクティスに従わなかったことに起因するもの（使用制限の超過を含む）（総称して「Amazon Route 53リゾルバーエンドポイント SLA 除外事由」）。当社の月間稼働率またはシングルAZ稼働率（該当する方）の計算に使用される要因以外の要因が可用性に影響を与えている場合には、当社はその裁量において、かかる要因を考慮してサービスクレジットを発行することができる。